

高齢者用肺炎球菌ワクチン接種について ※必ずお読みください

肺炎球菌ワクチン接種を実施するに当たって、受けられる方の健康状態をよく把握する必要があります。そのため、予診票にできるだけ詳しくご記入ください。ご高齢の方などでご自身での記入が難しい方が接種を希望されている場合には、健康状態をよく把握しているご家族など代理の方がご記入ください。

【効果と副反応】

沈降 20 価肺炎球菌結合型ワクチン(PCV20)は、20 種類の血清型を対象としたワクチンであり、特に侵襲性肺炎球菌感染症全体の 3~4 割の予防効果があるという研究結果があります。

※侵襲性感染症とは、本来は菌が存在しない血液、髄液、関節液などから菌が検出される感染症のこと。

主な副反応は疼痛・筋肉痛・疲労・頭痛などがあります。まれにショック・アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）、血小板減少症紫斑症（紫斑、鼻出血、口腔粘膜野出血等）が報告されています。

【予防接種を受けることが適当でない方】

1. ジフテリアトキソイドによってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
2. 明らかな発熱を呈している方
3. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方。
4. 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

【接種に注意が必要な方】

1. 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
2. 予防接種で接種後 2 日以内に発熱や全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
3. 過去にけいれんの既往のある方
4. 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる場合
5. 本剤の成分や、ジフテリアトキソイドに対してアレルギーを呈するおそれのある方
6. 血小板減少症、凝固障害、抗凝固療法を受けている方

【接種を受けた後の注意点】

ワクチンの接種後 30 分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。注射をした部位は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。当日の激しい運動は控えるようにしてください。

【ほかのワクチンとの同時接種・接種間隔】

医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、带状疱疹ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。また、他のワクチンとの接種間隔に制限はありません。

【予防接種健康被害救済制度について】

予防接種法に基づく高齢者用肺炎球菌予防接種によって引き起こされた健康被害（副反応）が、予防接種と因果関係があると厚生労働大臣が認定した場合、市町村長から給付を受けることができます。健康被害の程度などに応じて、医療費、医療手当、障害年金、遺族年金、遺族一時金、葬祭料などについて法律で定められた給付が受けられます。